

人間ドック・脳ドックの助成

平成26年度からの変更点

助成額が、ドック費用の7割から、人間ドックは2万6,000円、脳ドックは3万3,000円の定額助成に変更になります。ドック費用から助成額を引いた金額が自己負担額です。

対象



・ 検査日からさかのぼって1年以上富士市国民健康保険の被保険者で、検査日まで引き続き加入している人

・ 平成26年4月1日時点で満20歳以上の人で、後期高齢者医療制度に該当しない人
・ 国民健康保険税を完納している世帯の人

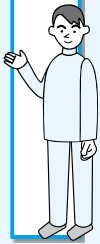
※脳ドックの助成は3年に1度です。平成24・25年度に助成を受けた人は、平成26年度は助成を受けられません。

※人間ドック・脳ドックは、年度中にどちらか一方しか助成を受けられません。

40歳以上の人

特定健診（特定健康診査）の助成対象です。人間ドック・脳ドックに特定健診項目が含まれるため、ドックを受診すると特定健診を受けたこととなります。平成26年度に特定健診を受けると、人間ドック・脳ドックの助成は受けられませんのでご注意ください。

申込方法



① 市が指定する検査機関（下表参照）に、国民健康保険の助成を受けることを申し出て予約する

②

助成申請し、助成券を受け取る
申請期間 3月24日～12月19日

8時30分～17時15分（土・日曜日、祝日は除く）

申請場所 国保年金課窓口（市役所3階）

持ち物 保険証、特定健診受診券（40歳以上で、手元に受診券が届いている人。5月下旬に青い封筒で発送予定）

③

検査機関で受診する
実施期間 4月1日～平成27年3月31日

持ち物 ②で受け取った助成券、保険証、検査機関から届いた問診票・検査用品、自己負担金など

検査項目（各機関に共通するもの）

（人間ドック）身体計測、血圧測定、視力・聴力検査、腹部超音波検査、心電図検査、眼底検査、肺機能検査、胸部X線検査、上部消化管検査、血液検査、尿検査、便潜血検査
※前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診を受けられる検査機関もあります。

（脳ドック）MRI・MRA検査、身体計測、血圧測定、心電図検査、胸部X線検査、眼底検査、尿検査、血液検査

要確認！

※検査機関ごとに、検査実施日や受

●ご注意ください●

後期高齢者医療制度の被保険者（75歳以上の人と、65歳以上で一定の障害がある人）で、市内に住所があり、保険料を完納している人は、人間ドック・脳ドックの助成を受けられません。申込方法や検査項目、自己負担額は国民健康保険の加入者と同じです。

詳しくは、国保年金課高齢者医療担当（☎55）2754に お問い合わせください。

検査機関一覧

人間ドック

検査機関（住所）	自己負担額	電話
富士市医師会医療センター（伝法2850）	1万5,040円	52-3111
三村クリニック健康管理センター（永田町2-60）	1万5,040円	53-0033
富士健診センター（柚木392-5）※1	1万5,040円	64-4421
宮下医院（平垣本町4-1）	1万4,000円	61-0376
川村病院（中島327）	1万4,000円	61-4050
富士いきいき病院（天間1640-1）	1万5,040円	73-1918
共立蒲原総合病院（中之郷2500-1）※2	1万5,040円	81-3324
新富士病院健康管理センター（大淵3900）※3	1万 800円	36-2211
ふじの町クリニック・健診センター（富士町12-12）※1	1万 180円	32-7711

※1 富士健診センター、ふじの町クリニック・健診センターの胃カメラの経口・経鼻は別料金です。
富士健診センター／各3,240円（要予約）
ふじの町クリニック・健診センター／各3,240円（要予約）
※2 共立蒲原総合病院の胃カメラの経鼻は別料金です（1,620円）。
※3 新富士病院は胃の検査方法をレントゲン検査にすると、自己負担額が変わります（4,300円）。

脳ドック

検査機関（住所）	自己負担額	電話
市立中央病院（高島町50）※4	2万4,600円	52-1131
聖隷富士病院（南町3-1）	1万8,400円	52-0780
池辺クリニック（川成新町250）	7,500円	65-0250
富士いきいき病院（天間1640-1）	2万1,000円	73-1918
共立蒲原総合病院（中之郷2500-1）	2万4,600円	81-3324
ふじの町クリニック・健診センター（富士町12-12）	1万 200円	32-7711

※4 市立中央病院の自己負担額は、3月下旬に決まるため、予定額です。

問い合わせ 国保年金課保険給付担当

☎55-2751 ☎51-2521

※検査内容については、各検査機関にお問い合わせください。